会　議　要　録

<table>
<tr><td colspan="2">会　　議　　名</td><td colspan="2">第２５回　八王子市生活安全対策協議会</td></tr>
<tr><td colspan="2">日　　時</td><td colspan="2">平成３０年2月１９日（月）　午前１０時３０分～１１時５０分（１時間２０分）</td></tr>
<tr><td colspan="2">場　　所</td><td colspan="2">八王子市役所本庁舎議会棟４階　第６委員会室</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出席者（敬称略）</td><td>委　　員</td><td>金子　富子、竹川　沙耶、清水　栄、難波　政則、綿田　直樹、内田　智、堀　武彦、酢屋　善元、榊　將志、野田　明美、大日向　由紀子　計１１名</td><td rowspan="3">計１６名</td></tr>
<tr><td>説　明　者</td><td>（委員、事務局等）</td></tr>
<tr><td>事務局等</td><td>藤倉生活安全部長、福島防犯課長、安岡主査、魚原主査、青木主任　計　5名</td></tr>
<tr><td colspan="2">欠席者（敬称略）</td><td colspan="2">福島　則幸、中嶋　廣一、北島　剛、加藤　明人、鈴木　麗加、吉岡　幸造（代理人：増田和昭）、鶴我　能史（代理人：井上新一）、櫻井　利行（代理人：児玉茂喜）　計8名</td></tr>
<tr><td colspan="2">議　　題</td><td colspan="2">１　平成２９年度　生活安全対策　事業実績報告について
２　市内の犯罪発生状況と対策について
３　各警察署管内の犯罪発生の傾向と対策等について
４　その他</td></tr>
<tr><td colspan="2">公開・非公開の別</td><td colspan="2">公開</td></tr>
<tr><td colspan="2">非公開理由</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">傍聴人の数</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">配布資料名</td><td colspan="2">● 次第
● 資料１－１：平成２９年１２月末犯罪発生状況対比表
● 資料１－２：八王子市内　振り込め詐欺などの特殊詐欺被害認知状況
事前配布
● 資料２：平成２９年度　生活安全対策事業実績報告
● 最新委員名簿</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議の内容</td><td colspan="2">（次のとおり）</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議録署名人</td><td colspan="2">平成　３０　年　１２　月　１２　日　　署名人　　綿田　直樹</td></tr>
</table>

会議の内容　　【　　】：発言者（敬称略）

１　開　　会

【福島課長（事務局）】

■配布資料の確認

■新任委員等の紹介

・人事異動に伴う委員の途中改選があったため、ご紹介します。京王電鉄株式会社から難波政則委員、本日は欠席ですが、八王子警察署から吉岡幸造委員が就任されました。本日ご出席の難波委員と、途中改選ではありませんが前回欠席された八王子消防署の榊將志委員からご挨拶をお願いします。

【難波委員】

・京王電鉄の難波です。私自身も八王子市出身なので、鉄道会社だけでなく住民としての視点から発言していきますので、よろしくお願いいたします。

【榊委員】

・八王子消防署警防課長の榊です。私は昨年の４月に八王子消防署に赴任し、主に災害や救急についての責任者をしていますので、よろしくお願いいたします。

２　部長挨拶

【藤倉部長（事務局）】

・日頃より委員の皆様には本市生活安全対策に様々な形でご協力を賜り御礼申し上げる。

・本市は昨年市政 100 周年を迎え、都市緑化フェアの開催など、市内各地で多くの記念事業を展開してきたが、２月４日の「子どもミライフォーラム」を最後に、一連のイベントを無事に終了した。

・生活安全対策は本市の重要な施策と位置付けられている。さらに充実させる必要があると考える。６月の会議に引き続き、委員のみなさまには関係機関同士の情報共有、意見交換を通じてさらなる市民の安全安心の向上のため引き続きご協力をお願いしたい。

３　開催

【綿田会長】

・只今から第２５回生活安全対策協議会を開催する。

【福島課長（事務局）】

■協議会の成立

・委員総数１９名のうち、代理の方を除いて１１名の委員が出席されており、過半数を超えたため、本協議会は成立する。

■情報公開

・本協議会は、条例施行規則第６条９項に基づき原則公開となっているが、傍聴人はおりません。

・協議会の議事録は、原則として発言者の名前を記載した要点記載方式であり、内容の正確さを記すため、会長に確認、署名をいただいている。

議題１　市内の犯罪発生状況と対策について

【魚原（事務局）】

・資料１－１に沿って説明。

（以下資料補足）

・八王子市における全刑法犯の件数は都内（島しょ部を除く）53 区市町村中ワースト１３位。

・八王子市の刑法犯認知件数のピークは平成１２年で、この年を境に年々減少し、平成２９年は前年と比べて251 件減り、3,951 件だった。なお、東京都全体の件数は 124,783 件だった。

・昨年の本市の傾向は、侵入盗・車上狙い・自動車盗・オートバイ盗が多く、それぞれ都内でワースト４位・８位・３位・５位であった。

・資料１－２に沿って説明

（以下資料補足）

・平成 29 年中の八王子市内の特殊詐欺認知件数は 136 件、被害額は２億 5,478 万円で、前年よりも 67 件、7,860 万円増加していた。２月と 12 月に被害が多く、被害に遭われた方は７割以上が女性で、平均年齢は 71 歳。

質疑応答

【綿田会長】

・特に意見がないようなので、次の議題に移る。

議題２　平成 29 年度生活安全対策事業実績報告について

【安岡（事務局）】

・資料２に沿って説明

（以下資料補足）

・台風の影響で、毎年開催している「防犯・防災フェア」を中止した。その代わりとして、高尾警察に協力を依頼し、新しくできたイーアス高尾で３月にイベントを予定している。

・平成 27 年度から東京都から提供された自動通話録音機の無償貸与を行ってきたが、新たな取り組みとして、東京都の補助金制度を活用して本市が自動通話録音機を 200 台購入し、既に特殊詐欺の被害を受けた方や、被害者になる可能性が高い高齢者に無償貸与した。

・防犯カメラの設置補助は、今年度は３団体。平成 30 年度以降も補助団体数を拡大していく予定。

質疑応答

【綿田会長】

・特に意見がないようなので、次の議題に移る。

議題３　各警察署管内の犯罪発生の傾向と対策について

【八王子警察・増田代理】

・八王子警察署管内での平成２９年中の警視庁指定重点犯罪（八罪種：特殊詐欺・侵入窃盗・ひったくり・強盗・性犯罪・自動車盗・車上狙い・子どもを狙った犯罪）はそのうち、特殊詐欺は 58 件で、被害額は１億 4,000 万円といずれも前年より増加している。

・金融機関等の協力を得て 3,500 万円を未然に防止した。
・特殊詐欺について、元々犯罪抑止対策員 2 名で対応していたが、4 名増員して管内の巡回連絡や高齢者宅への注意喚起電話を 1 万 8,000 件行った。数か月かけて全ての世帯に行う。
・昨年 11 件現場検挙したのだが、今年は協力 3 件で検挙は 0 だった。

【高尾警察・井上代理】
・高尾警察署管内での平成２９年中の警視庁指定重点犯罪（八罪種）は１１２件、そのうち特殊詐欺は３２件だった。今年既に特殊詐欺は５件発生していて、昨年の同時期は２件だったため。
・手口としては、現金の手交よりもキャッシュカードの手交が多くなっている。
・年金が支給される偶数月の 15 日には防犯協会と協力し、手口を知ってもらうためのキャンペーンを行っていて、つい先日もキャンペーンを行っていたところ、地区の方々の声掛けで未然防止に成功した。
・地区の皆様の力を借りつつ、各種犯罪の抑止に努めていく。

【南大沢警察・児玉代理】
・コンビニ店舗内で ＡＴＭを操作していた高齢者を目撃した女性 2 名が、言動などから振り込め詐欺を疑い、110 番通報していただいた。実際に息子を騙る振り込め詐欺だったので被害を阻止しました。また、無人のＡＴＭで携帯電話を使いながら操作していた高齢者に気付いた方が声をかけ、110 番通報していただいて阻止出来ました。皆さん高齢者の防犯に対する関心が高く、声をかけた方になぜ詐欺と判断したかを聞いたところ、テレビや新聞等で手口を知っていたとのこと。
・高齢者だけでなく、広く新たな犯罪情報を発信することで、街の方とも一体となって犯罪を阻止していく。

質疑応答

【藤倉部長（事務局）】
・八王子警察署の犯罪抑止対策員が 1 万件以上電話をしたとのことだが、そのデータはどこから入手したのか。

【八王子・増田代理】
・警察官が巡回連絡を受けて、直接家庭を訪問した中で長年蓄積されたデータで、他から調達したものではない。この電話をした人の中では被害を受けた方はいない。捜査の過程で犯人グループから押収した名簿が 5 千件あり、その中で電話を受けて被害に遭ったのは 1 件だけ。

【藤倉部長（事務局）】
・八王子警察署では 3,500 万円を未然に防止したとのことだが、どんな事案だったのか。

【八王子・増田代理】
・市内の各金融機関に対し、高額の引き落としをする高齢の方へのアンケートをお願いしている。使い道を聞いてもらい、リフォーム代やお墓代が必要と言っているときは怪しいので、警察に連絡をしてもらい、警察が臨場して事情を聞いて詐欺が発覚する。また、市内のコンビニ全店舗にはアマゾンギフトや楽天カードを買おうとしている高齢の方がいたら、注意喚起のチラシを配るようお願いしている。

【金子委員】
・資料１－2 を見ると、八王子警察署管内の 7 月の特殊詐欺被害が 6 件で 5,580 万円となっているが、1 件でかなり高額な被害が出たのか。
【魚原（事務局）】
・7 月の特殊詐欺被害 6 件のうち 1 件で被害額が 5,000 万円のケースがあった。
・28 年度から数回にわたって受けた被害額を 1 件に合算したもの。霊感商法の被害者に対し、被害者の会を名乗り損害を取り戻せると偽って、補償金や弁護士費用などが必要と説明して繰り返し請求された。
【安岡（事務局）】
・この事案の場合、現金の受け渡しは手渡しと思われるが、もし銀行の預金を引き出したのであれば、これだけの額なので引き落としの際銀行員が気付くと思われる。タンス預金だったのか。
【魚原（事務局）】
・現金の受け渡しは手渡しではなく、宅急便を利用したことは判明している。ただし、どのような預金だったかは未確認である。
【安岡（事務局）】
・事務局からの報告だが、還付金詐欺については防犯課にも多くの電話をいただいている中で、危うく引っかかりそうになった方から連絡があった。場所はみなみ野で、説得しても最初は詐欺だと納得しなかったが、諦めずに交番へ行って警察官を連れてきて未然に防いだとのこと。
・銀行やＡＴＭを介さず、人目につきにくいタンス預金の場合、本人に直接注意喚起するしか方法がない中、どうやって防ぐのか。自動通話録音機がどれだけ効果を発揮するか注目している。
【綿田会長】
・資料１－2 を見ると、南大沢警察管内では被害額が減少しているが、八王子警察管内では前年比 36 件増で 7,873 万円増、高尾警察管内では前年比 13 件増で 1,307 万円増と、特殊詐欺被害が拡大している。高齢者が被害に遭われることが多いと思うが、更なる対策はどうか。
【八王子・増田代理】
・前述の独自作成したデータの高齢者世帯に電話する。
・防犯講話などの場でﾋﾞﾃﾞｵを観てもらったり、直接注意喚起を行う。
・極めて効果が高い自動通話録音機のＰＲをしている。
【高尾・井上代理】
・まず手口を認識してもらうことが大事と考えているので、人が集まる場所において署長や課長から特殊詐欺の話をしてもらう。
・個人宅に電話して、留守番電話を設定してもらうよう勧めている。
【酢屋委員】
・振り込め詐欺が多発しているが、被害に遭う可能性が高い方を教育及び訓練することは難しい。また、録音機を自費で購入するには金額的な負担がある。そこで、実際に録音する機能はないが、録音するというアナウンスだけする装置があり、1 台 370 円とのことで情報提供する。37 万円で 1000 台購入出来るため、録音機よりも広く配布出来るので防犯効果があると考える。

【安岡（事務局）】
・その装置は受話器に取り付けて使用するが、本人が詐欺と認識して手動で操作しないとメッセージが出ないものである。
・委員の言うとおり、録音機よりも台数を用意できるので、どちらが効果的か検討する。
【綿田会長】
・今年度 200 台を購入するとのことだが、来年度の予算も確保するのか。
【安岡（事務局）】
・来年度も同数で予算要求している。
・一人暮らしの高齢者など本当に必要とされている方に配りたい。
・自ら録音機がほしいと連絡してくる方よりも、民生委員や警察で危険と判断した方を紹介してもらい、そちらを優先したいし、今年度もそうしている。
・ある程度自力で判断出来る方については、酢屋委員から情報提供があった装置を使うことも必要と考える
【福島課長（事務局）】
・自動通話録音機の貸与を行っているが、200 台と台数に限りがあるため、電話機に留守番電話機能があるにも関わらず使われてない方については、そちらの機能を活用するよう説明しており、自動通話録音機と並行して効果を発揮するよう期待している。
【大日向委員】
・特殊詐欺の話が出ているので、消費生活センターで阻止したケースを報告する。高齢ではない原野商法の被害者が相談員と相談している最中に、大規模開発に絡む土地の買収があるとのことで、複数の地権者を名乗る人物から続々と電話が入り、他は全員払い込みを済ませたが、あなたに入金してもらわないと全体が売れなくなるので、正午までに 200 万入金するよう迫られたとのこと。結果的に被害は防げたが、相談員がこの電話は怪しいと説得したにも関わらず、マインドコントロールされたかのように、こちらの話には耳を貸さず「先に 200 万を入金してから話をさせてほしい。」と言い出して、相談員も困惑したとのこと。
【酢屋委員】
・資料１－１を見ると、江戸川区では全刑法犯が前年比マイナス 965 件と大幅に減少しているが、これは自然に減少したのか。
【魚原（事務局）】
・他市のことなので詳しい情報はないが、全体の取り組みとしては同じ警視庁管内なので大きな違いはない。ただし、各自傾向を踏まえた対策は講じている中で、江戸川区では自転車盗の減少が影響していると考えられる。

議題４　その他

【安岡（事務局）】
・実績報告で説明したとおり、町会自治会に対するカメラの設置を補助しており、それ以外にも平成 28 年度までに市内全 69 の小学校の通学路に 5 台づつ防犯カメラの設置を完了している。

・今年度から公園のトイレにも防犯カメラの設置が始まり、公園課で 54 公園に設置している最中。
・小中学校の校門付近に防犯カメラを設置したり、町会自治会や商店会が設置する防犯カメラにも補助を出すなど、本市では防犯カメラの設置を推進していく方向で、３警察と防犯協会も同じ立場にある。
・最近あまり言われなくなったが、個人情報や監視社会の問題があり、一般的に防犯カメラが多すぎるという考えもある。そこで、市民委員の方に伺いたいのは、それぞれの視点から一般的な感覚として防犯カメラを設置することについて、ご意見をいただきたい。

【金子委員】
・市内でも防犯カメラが多く設置されていると思うが、どこに設置されているかを知らないので、プライバシーとの関係で意見を求められても答えようがない。公園のトイレについては賛成で、全ての公園に設置してもらいたいが、普通の道路についてはどこにあるのか。

【安岡（事務局）】
・先ほど説明したとおり、各小学校に 5 台づつ設置しているが、多くは通学路上の電柱に取り付けられていて、そこには必ず「防犯カメラ設置中」との記載がある。しかし、高いところに付いているので、上を見て歩いていなければまず気が付かない。全校併せて 345 台なので、市内全域を考えると、どこにでも付いているという状態ではない。ニュースなどで報道されているように、犯人検挙に活用されていることで、市民の中に設置の推進に理解が広がっていると感じている。ただし、公園のトイレや通学路のように、市としても明確な意図をもって設置しているので、問題はないかと思うが、市民目線の意見を伺いたい。

【金子委員】
・駅周辺の人が通るところにも設置されているのか。

【安岡（事務局）】
・駅にもよる。エレベーターの中に付ける管理カメラや店内を撮影するカメラを含めたら膨大な数になるので、それを含めると至るところに付いているように思えるかもしれない。

【藤倉部長（事務局）】
・カメラといっても、施設を管理する意味でエレベーターなどに設置して管理事務所のモニターで常時監視しているものもあれば、通学路やコンビニに設置されているものは常時監視するのではなく、一週間ほど撮り溜めておいて、警察からの要請など必要に応じて提供するが、一週間を過ぎた物は消されていく。通学路の場合、家の玄関先が映ってしまうと常に出入りをチェックされているようで抵抗がある方もいるが、その辺はマスキングをして個人のプライバシーに配慮して設置しているような状態。

【金子委員】
・マンションのエレベーターの中などはカメラが設置されているのが分かり易い。

【藤倉部長（事務局）】
・たくさん付けているとは思うが、鉄道の駅はどうか。

【難波委員】
・駅の改札付近を常時録画しているが、そのうち積み上げられたら古いデータが上書きされる。

・こちらで判断した主要な駅だけホーム上にカメラを設置している。
・警察署からの依頼があったときだけ提供するというルールを決めているため、お客様同士のトラブルで、その場で見せてくれと言われることがあるが、例え当事者であっても応じていない。
・近年電車内のカメラを増やしている。4,5 年前 1 編成の 1 車両にだけ試験的に導入して、外に「カメラ監視中」と出したところ、車両全体で犯罪抑止効果が上がった。

【内田委員】
・八王子防犯協会では、防犯カメラの設置促進の意味で、3 月 7 日のセキュリティショーに 60 数名参加して、カメラのセキュリティや防犯について勉強してくる。

【清水委員】
・私は八王子駅前でシミズパークをやっているが、旭町の町中なので日々様々な事件が発生し、目の前の道路も撮影しているので、警察の方が事故などの捜査でカメラの画像を見に来るが、誘拐事件の捜査ということもあった。こういうことが非常に多く、2 ケ月に一度ぐらいは警察がカメラの画像を見に来ている。事件が非常に多いので、個人情報には配慮しつつ、防犯カメラで証拠を見つけて犯罪を解決していくことが、とりわけ人が多い繁華街では必要である。

【竹川委員】
・大学生なのでアパートで独り暮らししているが、2 年前に上京した頃、具合の悪い玄関の鍵を修理していなかった。私の地元では夜間鍵をかける習慣があまりないためだが、ある夜寝ていたら、見知らぬ男性が部屋の中にいた。逃走したため追いかけたが、男性なので足が速いし、土地勘があるようで逃げられてしまった。こういう体験をしたので、防犯カメラが付いているといいのかなと思う。
・マンションには大体付いているが、アパートには防犯カメラが付いていないことが多い。

【安岡（事務局）】
・防犯カメラがあることで、犯罪の抑止や検挙に結び付けばよいと考えている。

4　閉会

【綿田会長】
・以上で、第２５回生活安全対策協議会を閉会します。